

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：住宅費 目：住宅建設費

事業名 木造応急仮設住宅建設訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 住宅課 公営住宅係 電話番号：058-272-1111(内4835)

E-mail：c11659@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,546 千円 (前年度予算額：1,015 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,015	0	0	0	0	0	0	0	1,015
要求額	7,546	0	0	0	0	0	0	0	7,546
決定額	7,546	0	0	0	0	0	0	0	7,546

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

災害により自宅が損壊した被災者の仮の住まいとして、災害救助法による応急仮設住宅の設置が県の責務となっている。仮設とはいえ、その居住性については過去の震災時に他県でも大きな課題となっており、当県では一般的なプレハブ造以外に、高齢者等に好評の木造による仕様書を作成し、令和元年度、実際に木造応急仮設住宅（一般型9坪＋福祉対応型）を建設する訓練を実施。

建設した仮設住宅を存置し維持管理をする中で、問題点や居住性等の検証を行う。

(2) 事業内容

令和元年度の訓練にて建設した木造応急仮設住宅について、展示場として維持管理し、問題点や居住性等を確認することを目的とする業務委託を行う。

その間に一般県民や建設関係者等の見学会や宿泊を通じて意見を集約する。

また、応急仮設住宅2棟について、耐久性、居住性の検証を完了したため、解体訓練を実施し解体に伴う問題点（建物が容易に解体が可能であるか、建物解体後の資材の利活用可能な解体方法の確認を含む）の検証を行う。

解体訓練完了後、利活用できない基礎部分などの撤去工事（利活用されなかった資材の処分を含む）である解体工事を行う。

木造応急仮設住宅解体に伴う問題点、建築工期、耐久性、居住性、建築費用の検証を実施し、結果を反映した「木造応急仮設住宅」の仕様を作成をする。

(3) 県負担・補助率の考え方
全額県負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	29	職員旅費
需要費	61	消耗品
役務費	13	電話、郵便代
委託料	744	業務委託費
工事請負費	6,699	解体訓練費、解体工事費、仕様書作成
合計	7,546	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

近年、台風・地震災害が多発している中、実際に木造応急仮設住宅の建設訓練・一定期間の展示を行い、事前に施工に関する問題点・必要工期や居住性の検証等を行い、被災時の建設スケジュールの想定や更なる居住性の向上等のための仕様書見直しのためのデータ等を取得する。

また、木造応急仮設住宅の解体訓練を行い建物が容易に解体することができる仕様・工法であるかの確認や、解体後の資材を有効に活用することが出来る解体方法の確認をするなど解体時の問題点について検証する。

解体訓練完了後、活用できない基礎等の撤去工事（活用されなかった資材の処分含む）である解体工事をする。

木造応急仮設住宅解体に伴う問題点、建築工期、耐久性、居住性、建築費用の検証結果を反映した「木造応急仮設住宅」の仕様を作成をする

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

定性的な効果を目的とする事業であり、定量的な指標の設定は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 施工・維持管理上の課題検証 一般県民や建設関係者向け見学会等開催 実績：計195人 見学者へのアンケートの実施 検証結果を反映した岐阜県仕様の見直し
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 施工・維持管理上の課題検証 一般県民や建設関係者向け見学会等開催 実績：計32人 見学者へのアンケートの実施 検証結果を反映した岐阜県仕様の見直し
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時において迅速に建設する必要がある、机上の成果物で満足するのではなく、実際に建設することによる問題点の検証や見直しの検討は、非常時の事前準備として重要なものとする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・ コロナ禍の影響で、福祉団体等に対する見学会ができていない。 ・ 解体訓練で建物解体時の検証を行い、検証結果を反映した木造応急仮設住宅の仕様を変更する必要がある。 ・ 建物解体後の建築資材の利活用可能な解体方法について検討する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・ 木造仮設住宅の解体を令和5年度に実施する。建物を解体するまで維持管理することで、引き続き耐久性や居住性に関する検証を実施し、岐阜県仕様の見直しを図る。 ・ 建物を解体した資材等について、庁内及び教育委員会も含めて利活用する部署があるか確認をする。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】